



ARIM 次世代ナノスケール材料領域 研究会 マテリアル研究の新展開



日 時：2025年3月7日（金）13:00 – 17:05
場 所：九州大学 伊都キャンパス 伊都ゲストハウス 多目的ホール（福岡市西区元岡744）
参加費：無料

【プログラム内容】

13:00-13:05 研究会の主旨
村上 恭和 九州大学 超顕微解析研究センター長

大学の研究シーズ・研究インフラと半導体研究支援

13:05-13:45 「半導体微細加工共用施設“東北大学試作コインランドリ”の活動紹介」
戸津 健太郎 東北大学 マイクロシステム融合研究開発センター 教授

13:45-14:25 「熊本大学における半導体関連教育・研究の取り組み」
佐藤 幸生 熊本大学 半導体・デジタル研究教育機構 教授

大規模データとその利活用

14:25-15:05 「ARIM-mdxデータシステム
：材料研究向け実験・シミュレーションの統合データプラットフォーム」
華井 雅俊 東京大学 情報基盤センター 特任助教

15:05-15:25 ----- 休憩（20分） -----

ARIM 次世代ナノスケール材料領域の取り組み

15:25-15:50 「信州大学スポークの取組：データ駆動への展開と合成支援」
橋本 佳男 信州大学 先鋭材料研究所 教授

15:50-16:15 「九州大学デジタルラボ推進センターの目指すDXラボ環境整備」
藤ヶ谷 剛彦 九州大学 工学研究院 応用化学部門 教授

16:15-16:40 「カーボンデータベース構築の紹介：九大、信大の共同事業」
深堀 明博 九州大学 工学研究院 応用化学部門 特任准教授

16:40-16:50 総括
村上 恭和 九州大学 超顕微解析研究センター長

16:50-17:05 「九州大学学術研究都市の紹介」
篠原 太郎 公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 産学官連携主幹

.....
17:30-19:30 談話会：ビッグさんど（九州大学 伊都キャンパス センターゾーン）

主 催：九州大学 超顕微解析研究センター
文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ(ARIM) 九大ハブ
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構 (OPACK)

後 援：日本電子株式会社, 株式会社 日立ハイテク,
サーモフィッシャーサイエンティフィック, 株式会社 メルビル

お問合せ：九州大学 超顕微解析研究センター
マテリアル先端リサーチインフラ 事務局
TEL : 092-802-3489 / E-mail : nano_hvem@hvem.kyushu-u.ac.jp